

などに對し、「中国共産党の指揮に従い、戦争に打ち勝つ強い軍を作るという目標に向けて、断固として国家主権や安全、発展の利益

地球を

読む



日本人の平均寿命は1947年当時、男子50歳、女子54歳。これが2011年には男子80歳、女子86歳。約60年間で実に30歳も伸長した。長い人生の後半期を健康に、豊かに生きるにはどうすれば良いのか？



垣添 忠生

日本対がん協会
会長

超高齢化社会

応分負担で社会保障維持

外なく進む。日本はそのトツプを走っているに過ぎない。世界最速で人類未体験のゾーンにいち早く足を踏み入れる我々が発揮すべき叡智を、世界は注視している。

まず第一に、迂遠なよう

だが、人生80年の生活設計を、中高校生を中心とする青少年にきちんと教育する必要がある。食事や運動の大切さ、たばこの害、人はいつか死を迎えるという死の準備教育。これらを正確に伝え、生涯にわたる生活

青少年に対する教育などは直ちには効果が出ない。そこで、超高齢社会に對処するための処方箋を次々と出す必要がある。その際、少子高齢化による人口減を念頭に置き、かつ世界に冠たるわが国の健康保険制度を守る、介護保険制度を安定維持するという視点が欠かせない。A2面に続くV

費は累増する。負担と給付のバランスを考えないと、現役世代も高齢者層を支えきれない。

人口が減り、2人が1人の老人を支える国。世界に誇ってきた保健医療が危機を迎えつつある。この事態

を、前向きにとらえることはできないものか？

国連人口基金の「21世紀の高齢化報告書」によれば、60歳以上の人口が3割を占める国は、現在は日本だけだが、50年には64か国になる。高齢化は世界中で例

こによる慢性閉塞性肺疾患(COPD)やがんなどが予防され、人は健康に老いることができる。また、運動器症候群(口コモタイプ・シンドローム)を予防することにより、骨、関節、筋肉、靭帯、神経

習氏が14日に国家主席に就任して以降、公式の場で演説するのは初めて。習氏は「わが国は今日、世界の

家の富強」を達成する必要がありと指摘し、「愛国主義は中華民族を強固に團結させる精神的な力だ」とも述べ、国民の愛国心を鼓舞

ことは、決して揺らぐことのない意志である」と強調した。尖閣など具体的な地名には言及しなかった。

対米関係については「ア

へハッカー攻撃に中国が関与しているとの指摘に對しては、「根拠のない非難はやめた方がいい」と反論した。A関連記事4面V

首相がTPP交渉に参加

